THE WOMAN'S WEEKLY
第四巻第六號
大正七年二月八日發行　(毎週發行日金曜)　大正四年十一月四日第三種郵便物認可

目次

□男女の人權……小橋三四子
□時事週評……
□今年廿七回目の一夫一婦の請願……矢島楫子
□讀者だより……
□私の受けた感化「わが姉一葉女史」……樋口くに子
□食糧研究 蛋白以外の重要素……高木眞一
□花を愛する佛蘭西の人……小寺幸子
□日本語を學ぶ外國人の生徒……佳子
□心臓を強壯にするには……記者
□女學校印象記「日本娘風の女子學院」……記者
□家庭の防寒設備……斬雲
□借家に住つて思ひついた事の一二……奥きく子
□子供の智慧……
□紀元節の家庭の祝宴に……藤田てい子
□固くなつた餅のおいしい食べ方……
□オハナシ「青い花の國」……宮本幾美子
□小説「手紙」……渡邊たみ子
□噂……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雛人形陳列會

二月一日より三月二日まで開催、例によつて普通の雛人形も多く御座いますが、特に目立つものは本年新製の變り雛でありますゝ その他木彫もの木目込もの等、澤山陳列して御覧に供します。

東京

三越呉服店

帯側陳列會

二月十日より廿五日まで開催、三越の春の流行は、例年帯側で始まるので御座います、特に本年は製作に非常の努力を致しました結果、珍らしい新柄、變り柄の帯側を澤山陳列いたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女の人權
なほ大に不平等

□男女はなほ大に不平等

私は常に男子對婦人の問題の起る毎に、一般の人がなほ男女の取扱ひに不平等の多いのを、秤にかけてまざ〳〵と見せられるが如く感じます。その時弱い女の爲めにいかに一時的に辯護しても、到底徒勞であつて、もつと根本から、人の心に革命が起らなければならぬ、その革命は附け燒刃でなく、永い年月養はれたものが自然に醱酵する折を待たなければならないといふ事を、熟々考へるのでございます。

□踏みにじられた情緒

例へば此處に軟かい處女の情緒を、さん〳〵に踏みにじつた揚句に捨てた男があると致しませう。男は新らしい愛を漁つて他に走るとしても、多くの人は咎める處か、却つて第一の女の無智故に、男の心を讀めずに獨りぎめにした罪に歸さうとして嘗て男がどういふ態度を以て、其の處女の精神を奪ふ迄に致つたか、もし其處に男の負ふべき責任があつたら、どう處置をとらなければならぬかを、細かに考へずに、男の一言二言を信用して、手早く裁判して終ひ勝ちです。

□行爲に對する責任

既に移つた愛を、再び戻さうとするは不自然の極みであつて心ある者の斷然避くべき事ではありますが、男女の人權を平等に認むる者であつたら、此の場合女の言葉にもつと強い信賴を置くべきであります。然るに多くの人が女の言葉はヒステリーの發作か、さもなくば、夢見る人の言葉の如くに、半ば危みを以て聞き、且つその發表の幼稚な爲め、充分の感情を現はし兼ねるのを幸ひに、多くは壓迫し去つて、不思議とはしないのであります。女にも確かに僞り澤山なのがあります。然し眞僞を分つは聞く人の責任でありますが、既に「無智故に獨りぎめの愛を持つた」と云ふに至つては、其の無智を知らずして、其處に至らしめた男の責めをも問なければなりませぬ。これは愛を戻さうといふ事とは、別問題であつて、人の行爲に對する責任を明らかにせんが爲めであります

□婦人の人格の尊重

近く米國に於て、國防委員長の重任を帶びたアナ、ショウ女史は、初め政府の人々が「この重任がよく婦人に果し得るか」と危み問うた時、「婦人を幼稚園の兒童視せず、之れを重んじ高めれば立派に國家の一員として政府の役人として其の責めを果たす事が出來ます」と答へた言葉は意味深長であります。婦人は無智なもの、一個の人間として男子と平等視する事が出來ぬものとすれば、いかに口に婦人問題を叫んで、その向上を希ひ、女子敎育を奬勵して其の進歩を計つても、何時迄も婦人は半人足であり、社會には片手落ちの道義、制度が行はれなければなりません。

□獨逸命脈ありや

軍國主義の獨逸は、人口補充

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衆の一つとして、一夫二妻主義を布かうとするやに噂せられて居ります。世界は日に〳〵民主の精神行き亘り、平等の人權を獲得しやうと、革命を起し大なる苦痛を忍んでも、一歩進んだ大道に出でんとして努めて居る今日、獨逸が婦人の人權蹂躪のこの制度は、明らかに世界の潮流に逆行したものであつて、今後この方法によつて人口は增殖しても、徳義の廢頽は人類を退化せしめ、幾年か後の自然の淘汰を思ふべきであります。此の際婦人が起つて、自己の權利を保護し、この制度に反抗する丈けの氣慨と勇氣があれば、獨逸の命脈はなほ望みありと申すことが出來ませう。

口婦人の呼應何故なきか　顧みて日本の現狀を見れば、人倫の基本なる一夫一婦の制度さへ完全に成立して居ないのであります。矢島老刀自が社會の嘲笑をものともせず、永年に亘つて、婁まず政府に請願を提出せるその赤誠に、何故に婦人は相呼應する事が少いのでありませうか、或るさかしげな婦人は、婦人自身これを以て愚な企ての如くに批評し終らうとして居ります。然し彼れ等婦人の眞情に耳傾けたならば、必ず一夫一婦の強い要求を持つて居るでありませう。しかも其の要求は、良心の叫びであります。何を恐れ何を憚ることがありませうか。聲の限り其の權利を主張したいものであります。

口女子の發達援助の爲　憲政布かれて三十年の歳月を經て居るにも拘らず、國民はなほ立憲思想に乏しいと嘆いて居ります。然し國家の基礎を爲す家庭に人權蹂躪が行はれ、壓制が横行するやうでは、何時迄も人權を重んずる國民となり難いのは當然であります。この小さい國内にあつてすら、自立する事の出來ない國民が、どうして民主思潮の行き亘つた國際間に起つて、其の生存を續けて行くことが出來ませうか。から考へて來れば、婦人の地位の問題は國家社會の問題であります。其の地位の向上の爲め、益々女子教育起り、女子の職業の範圍擴まり、其の社會的活動の盛んになり、人間としての自重が女子の間に勃興するやうにと祈りますが、社會も亦其の發達を援助する爲めに、心ある人は、虐げられたる婦人の聲の微かに小さきものをも疎かにせず、常に直しく聞き、公平な評價をこれに與へるやう務められたいものであります。（三四子）

時事週評

口増税案と各政黨　海陸軍備充實の財源として、寺内々閣より今期議會に提出されたる新税增税案は、衆議院本會議、同委員總會及び分科會に於て、遺憾なく質問を了しましたので、各政黨とも增税案に對する態度を決定する必要に迫られ、政友會は三四兩日朝部會を開き、原總裁と後藤内相との間に折衝がありました結果同黨は戰時利得税の新設及び酒造税の增率は政府案に賛成し、所得税も修正を加へて是認し、其他は全部反對と意向決定しました。國民黨は政友會の認むるもの、外、通行税の廢止、織物税の改正に賛成、他は反對の意向です。憲政會に於ては、獨り戰時利得税を認むるのみで他は全部反對の意を表明して居ります。結局政友會の主張通りになりさうであります。

口米價の暴騰　我が米價は近來また騰貴して、二升臺といふ未曾有の値を出して居ります。食糧の主要品の騰貴は、生活上大きな打撃であるのは勿論でありますが、然し此處に大に我が國民の發明が生れて來るでありませう。高價な米を白らげて滋養を少くして食べる事や不足勝ちの米を酒に醸造する事などは第一に改むべき事であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今年廿七回目の一夫一婦の請願

潑溂たる婦人の要求を待つ

矢島楫子

□獨逸の一夫二妻主義

一夫一婦の請願及び海外賣淫婦取締法は、今年も幾多同志の署名を冊子として、近く貴衆兩議院に提出しやうとして居ります。今回で二十七回目であります。折柄世界大戰亂の結果として、人命を彈丸のやうに投じ去つた獨逸に於ては、今後急速に人口を補充する必要上、一夫二妻主義が公然社會に行はるゝやの噂があります。これは婦人が蠶の種子取り同樣に取扱はれる事であつて、かう迄人の格式を下げなければならぬ事は、戰爭が生んだ第一の悲哀であります。然し由來貞操觀念の薄い日本の男子には、これが自己辯解の一助とならぬとも限らぬ事で少くとも國を憂ふる男女は、起つて此の際貞操の人間生活を築く上に重大の意義あることを益々旺んに叫び度いものであります。

□モルモン宗の女

モルモン宗が米國の或る曠野を占め、己のが血族を以て其地に滿たうとして、所謂種子取りの婦人を多く圍ひ、一夫多妻主義を實行して居る事は人のよく知る處であります。嘗て私が亞米利加に參つた時に、婦人等がいかに熱心にこの主義を滅ぼさうとして鬪つて居るかを目擊しました。其の實狀を實際探知した婦人の話によると、モルモン宗の一郭に入れば、直に婦人の悲鳴を揚げて苦痛を訴ふるに出遇ふといふ事であります。彼れ等は衣食には何の差支へがあらう筈がないのでありますが、心の不滿は癒すべくもなく、常に安神を得やうと跪き悲しんで居るとの事であります。さもあるべき事で、人道に外れた行ひに安んじて居らるべき筈はありません。

□國家的自殺

未開の時代ならばいさ知らず今日文明の知識を蓄へて居る男女が、國家の必要上からその不自然を敢へてする事は、目明きを盲目たれと强ふる不自然な小刀細工で、實際に行つた曉は、どんなに人心が荒廢し、不安に襲はれるかも分りませぬ。安心のない處に進步もなく、繁榮もありませぬ。獨逸が軍國主義の餘弊として、遂に國家的自殺に陷らなければ幸ひであります。

□先づ公娼制度の全廢を

顧つて日本の狀態を見ればどうでありませうか。國家が公娼制度を認めて居る以上、一夫一婦の請願の通過せぬ事は、無理ならぬ事であります。公娼制度の急速に廢止の出來ぬのは、表面稅の關係の如く申しますが、實際は男子の放縱性の保護であり、婦人の悲慘な犧牲の公認であつて、廿世紀に有り得べからざる事であります。もし人權が平等に認められた曉は、先づ公娼が全廢され、同時に一夫一婦の請願も通過する筈であります。米國は最近の議會に於て禁酒案が通過したとの事でありますが、ウヰラード孃によつて其の叫びが擧げられてから、五十年の永い歲月を經て居ります。それに比すれば我が一夫一婦の請願の如きは尙ほ三十二年前に叫び初めたのであつて、決して今日の輿論を作つて來たのは、遲い發達とは申されませぬ。

□婦人の叫びを待つ

顧れば明治二十二年憲法發布された時、恰も我が矯風會も

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誕生しましたが、一夫一婦の根據が立ち、貞操の觀念が確立しなければ、禁酒、禁煙の枝葉の事が行はれても無意義であると云つて、徳富猪一郎の姉の湯淺はつや、海老名彈正夫人のおみやさん等と一緒に民法・刑法の改正と海外賣淫婦取締法との請願を思ひ立ちました。趣意書の起草は徳富猪一郎に頼み、先づ島田三郎氏と箕浦氏とに其の趣意書を持參しました。島田氏は「至極立派な事ではあるが、私共は恐縮する計りです」と申され、箕浦氏は一大長息して「感服はするが、今日の日本では、この一夫一婦の請願は贊成してよいか否か解らぬが、只海外賣淫婦取締法には至極贊成である。もし政府が法令を以て取締つた節は、行き處のない女はどうするか」との事でありました。私は言下に「それは私共が引請けます」と申して歸りました。――慈愛館はこの言葉の責めを果す爲めに生れたのでした――かういふ狀態から見れば當局の人々も今日は遙か進み、一般の輿論も啓け、もはや曙光の見ゆる瀨戸際迄漕ぎつけた今日は、隔世の感があります。只も少し婦人自身が強く要求しさうなものだと思ひますが、今は教育あり主義ある婦人が直きに社會に軟化して終ひます。却つて工女の如き團體に人道主義を吹き込んだら、或は其處から強い叫びが上つて來はしなからうかと期待して居ります。

讀者から

▲長崎市奥きく子樣から「寒さの折柄愈々御機嫌よく、日夜姉妹の爲め、御盡瘁遊ばされ候段常々感謝いたし居候次第に御座候。私共も微力ながら當地の有志御婦人方と一團を作り、僅かなりとも世の爲めに盡し度志は御座候へども、力足らぬものにて、何の爲す事もなくお恥しき事に存じ候。私共の心に在りて外に表はし得ざる願ひや思ひを、常に御誌にて拜見いたす度毎に、しみ〴〵と嬉しく、どうか讀者を弘め候事の出來るやうにと心にかけ居候。然しなか〳〵は家庭の裡に安穩の日を送り居る姉妹方には、了解して下さらぬ事多く殘念に御座候。別紙御目にかける程にもなく候が、實驗より生れしことども、廣く姉妹方に幾分の御參考ともならば幸ひにぞんじ候。」▲一女事務員より「[illegible]社に働らく女事務員の身の上です。學ぶ身も働らきから刺戟されて、どうかして女の心身がもつと強くならなければならぬと感じて居ります。終日の勤務を終へて、家に歸ると、もうぐつたりして、湯に行くのもものういやうに覺えます。然し土曜には御誌が待つて居ると勇んで歸り、明くる日の休日を心のどかに覺えながら、床に就くのも忘れて耽讀いたします。時折は何となき涙をほろりと誌上に溢すことがございます。これは失禮ながら社會に働らく今の女ならでは、感ずる事の出來ない御叫びに共鳴したさでも申しませうか。私にとつてのこよなき師友が、どうか末長く榮えよと心から祈ります。

* * * *

卒業生講習終了生諸氏ニ告グ

豫テ改築中ノ本校々舍今般落成セシニ依リ來ル十一日紀元ノ佳節ヲ期シ同日正午ヨリ落成祝賀式擧行致候間午前十一時半迄ニ本校へ御參集相成度尚當日ハ山階宮大妃殿下臺臨ノ御内意ヲ拜シ居候ニ付テハ一同御出迎申上度隨テ時間等正確ニ御遵守相成度服装ハ本校ノ主義トシテ質素ヲ貴ビ銘仙以下ノ綿服ヲ用ヒ紋付ニ及バズ羽織ハ着用セズ袴ハ隨意ニシテ肌着ハ白襟ヲ附スル事ニ致シ候

追テ本校卒業及修了者ハ其數三千餘名ニ及ビ一々御通知致シ難ク候ニ付茲ニ紙上ヲ以テ廣告致シ御案内ニ代へ候成ルベク多數御參會希望致候

大妻技藝學校

生徒募集

家政部（四月又ハ九月入學ヲ許ス）

裁縫部、手藝部、實業部

土曜日部、日曜部、手藝講習部

（以上各部共毎月入學ヲ許ス）

個人教授

詳細郵券三錢要ス

東京市麴町區上六番町七

私立大妻技藝學校

電話番町一二二〇番

振替東京三一六〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

——食糧研究（三）——

食物の主要分

（下）蛋白以外の重要素

海軍經理學校教授 高木眞一

口有効無効の蛋白質

前回には蛋白質の種類を述べましたが、なほ少しく蛋白質に就て附言したいことがあります。米國の生理化學者メンデル教授の研究によると、蛋白質に身體の成長を助くるものと助けないものとの區別があり、その主なるものを擧ぐれば、身體の成長に効あるものとしては、牛乳のカセイン及ラクトアルブミン、鷄卵のオーバアルブミン及オボブチリン、玉蜀黍のグルテリン、小麥のグルテニン、大豆のグリシニンであつて、身體の成長に効なきものは、大豆のレグメリン、小麥のグリアデイン、豌豆のレグミン、大麥のホルデイン、玉蜀黍のチイン等であると申して居ります。以上の如く均しく蛋白質と稱しても、其の効用には大差があるのですから、食物の研究にはこの種の智識が必要であり、特に成長期にある兒童の食物には、この點に注意することが極めて大切であります。

口主要素ビタミン

蛋白質以外の重要素として、ビタミンといふのがあります。これは普通の分析には、今日のところ表はしてありません。しかし早晩蛋白質や脂肪と共に、分析に表はれることゝ信じます。ビタミンの發見者ガウランド、ホプキンス氏の實驗によれば、純粋の蛋白質、含水炭素、脂肪及び無機鹽類の混合食物では、動物は生存する事が出來ずして之れに少量の牛乳を加へて、始めて完全なる食物となることを證明して居ります。之は無機鹽類、脂肪、含水炭素、蛋白だけの食物では身體の成長を助くる物質に缺乏して居ることを證明し、この物質をビタミンと命名して居ります。

口ビタミンを缺く精白米

我が精白米には此のビタミンに缺けて居ります。元來米の如きは、其の外皮にビタミンの全部を含有して居るのでありますから、これを搗いて白げて終へばこのビタミンが缺乏するのは當然であります。本邦人に多くある脚氣病はこのビタミンの缺乏から來るものでありますから學者はこの病氣を名づけて缺乏病と云つて居ります。このビタミンは極めて僅微の量に於て食物に存在し、動物の成長には、甚大の影響を有するものであります。

口燐素と同分量

この疏かにせられたる重要素は、どれ程の分量に食物に含有されて居るのでありませうか。今日の化學的分析方法では、蛋白質や脂肪のやうにビタミンを測定する事は出來ませんが、食品の中に燐素とビタミンとは同分量の割合に含有されて居ることは明らかでありますから、燐素の量を計つて、ビタミン含有の量を推量することは容易であります。然しフレーザー、スタクトン兩氏は燐酸〇、四パーセント以下を含有する米はビタミンに乏しいと云つて居ります。マイヤーズ、フークトン兩氏は玉蜀黍は〇、五パーセント以上、小麥粉は一パーセント以上の燐酸を含有しなければ、ビタミン

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の量が少くて、食物としては不可であると云つて居ります。かくの如くビタミンは蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類の有て居らぬ人間必須の一特性を有するものでありますから、此の點によく注意を拂ひ、從來のやうに食物を選擇するに、單に蛋白が多いとか、熱量が十分であるとかいふ事にのみ安心しては居られないのであります。

□食物の智識を與へる事

要するに食物の良否は、各個人の健康、經濟、幸福に直接關係あるばかりでなく、延いては國家の盛衰に關する事でありますから、廣く、且つ深く研究しなければならぬのであります。

紐育市の衛生課では、公衆衛生教育なるものがあつて、簡單に食物中の營養の事を書いて、一般に無代で配布して居ります其の印刷物の中には、一、不消化に就て、一、秘結について、一、肥る方法について、一、痩る方法に就て、一、食物と營養などゝいふ題があつて、一般の人民に食物の智識を與へて居ります。(完)

私の受けた感化（五）

わが姉一葉女史

樋口くに子

▲小石川の大迦藍傳通院前の電車通りに、雜誌兼文房具店がある。目も綾に雜誌の表紙繪が並んで、新しい氣持の好い紙の香があふれて居る。奥の帳場格子には、くつきりと色の白い大きな瞳のごとやらに、才氣の溢れた四十四五の婦人がお釣錢を出すのに多忙を極めて居る。

▲『まあ姉の事ですつて……もう皆様御存じの事で何もお話する事は無いのですよ』帳場の婦人はかう云つて記者を招じた。

樋口文房具店、――それは今を去る廿三年の昔、明治文壇に花と咲き花と散り去つた、樋口一葉女史のお宅なのである。妹御の國子さんは、黒繻子の衿の揃つた前をかき合せ、快活な愛嬌のよい言葉で、なつかしい物語をつゞけて下つた。『私共の姉といふのは、矢張り普通の女だつたんですよ、よく喧嘩が致しました替りに、又よく可愛がつてもくれました。親思ひ妹思ひで、記憶のよかつた事丈けは並外れて居ましたが外は何も違つたことはありませんでした。あの筆も貧乏が生んだんですね』

茫涅　夏月　欒川堂
たかむしろ子等にしかせてふし待の月よすゞしきこゝぎの宿　夏子

樋口一葉女史と筆蹟

▲『よく申して居りました、夕には乞食を相手にし、朝には貴婦人の群に入るさ中島歌子先生の門に入つてからは、只今の三宅花圃先生始め、何爵夫人様なごゝいふ立派なお方と膝を交へて居りましたので、家へ歸つてしみ〴〵とあんな感想を洩らしたのだとみえます。十歳年も師事して居た中島先生が、夏ちやんの三つ指をくづした姿を見た事が無いと仰有いました。家へ友達が泊つても、夏ちやんの取り亂した姿を見た事が無いとも申されました。それ程姉は固苦しい婦人なのでした、そしてばかに徳義の念のあつい人でした。よく世間で一葉は酒をあふつたなど申される様ですが、どうしてそんな事は夢にだに無い事でした。』

▲かうした話を聴いて居る間にも、店には客の影を絶たない。奥には賑かな子供さんの聲がして居る。國子さんは九人の子供の母様である。『叔母様に似た才媛も居らつしやるでせう……』『ナニどうして皆鈍物許りで弱りますよ』とにつこり笑ひをみなぎらしながら、でも有難いことに、本願寺の姉の墓場の前には、いつ行つて見ても、香花のあとを絶ちません。これだけは私も感謝して居ります』

思へばたつた廿五歳を一期として逝つた才媛は、なほ惜しみても餘りある事である。一葉全集の口繪にある姉の俤をさながらにしのぶ懐しいお顔がくつきりと帳場の前にいつ迄も浮き出て居た。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花を愛する

佛蘭西の人

花の國と云はれる日本は却て淋しい

女子商業學校教授　小寺幸子

□櫻時の外は淋しい日本

未だ歸朝つてから日もありませんで、何かとごたく〳〵して居ります。お話も随分ございますが、先づ私の専門は造花でございますので、其方を一心に見て参りました。日本は花の國だと稱へられて居りながら、櫻の時節を除いては、花の影だに見られません。花を愛する心は、確にあちらの方には及びません。西洋人は男でも胸の邊りに作り花を飾り、殊に婦人の帽子には花が無くては居られません。夜會などには、先づ花の心配です。

□自　の　を

此様に生花とか造花とかの別ちなく、凡てあちらの人は花に對する觀念が厚いのであります。花を愛する心から、日本の様にひねくつた花は決して喜びません、花は自然其まゝを尊いとしてあります。贈物としては生花が多うございます。造花は凡て装飾用であります。籠盛りは流行つて居りません。造花を日本では、ほんの手藝教育の一部分としてございますが、あちらでは立派な職業としてあります。

□造花の流行

服装や帽子に伴れて、あちらには造花の流行もございます。それにしつくりと合つた職業的美術の花は婦人社界に美しい色彩を放つて居ります。服装に對する造花の流行といふのは、夜會の流行服が、薄い布地のものならば、矢張りそれに調和した薄い布で造つた花をつけます、薄いものに天鵞絨の様な厚ぼつたいものはつけられません、小さい帽子の流行る時には自然花も小さいものに變ります。従つて色も、帽子や服装に因んだものを用ふる事にしてあります。

□今は一般が質素

只今ですと、戦争の影響をうけて、凡てが質素になつて居ります、毎日戦争のために、父を亡くした人、兄を失つた人、或は親戚に戦死者を出すといふ様に、喪に服する婦人が多いので、又たとへ、喪にあはない人でありましても、此際けばけばしい色はつけません。黒とか茶の類が主であります。造花も従つて質素なぢみなものが全部をしめる様になつて居ります。

＊　＊　＊

□寫眞説明　挿入の寫眞は東京驛に着いたばかりの小寺幸子女史です。女史の右は出迎へに出られた鳩山春子刀自です。

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本語を學ぶ

外國人の生徒

―熱心に我を忘れた研究ぶり―

＊　＊　＊　＊　＊

神田一ッ橋の外國語學校からは、あらゆる人種が靴音忙しげに出入をして居る。古びた門に立つて見れば、左手に「日語學校」と大書された、眞白い看板が先づ目立つ。日本語が普及されるといふ事は、一つには國威の發展といふ悦しい事實であるに違ひない。外國人にとつて比較的むづかしい日語を學ぶといふことは、かなり困難であらう。誰しも多忙である身が、たとへ一つでも學び得やうといふ、熱心さを知りたい爲に、某日そつと其の教室の隅に、失禮する事にした。

入口からは長い廊下が、恰も長城の樣に續いて居る。忽ち耳をそばだつれば、男女の混合した聲で、覺束ない日本語の連續が聽こえて來る。それは右手の廿五番の教室であつた。そこには數人の西洋人が、一心に教壇の方に向つて先生の言葉を傾聽して居る。先生は小柄な松宮彌平氏であつた。『海は大層おだやかで小波が、靜に打つて居ました』先生はカードを手にして、此言葉を幾度となく繰り返した。左端に居た肥つた人が、怪しげな語調で其眞似をする、其隣の美しいボンネットの人が、やさしい聲で同じい事を云ふ、次の婦人、次の男子、かうして皆が言ひ終ると、一樣に机上の帳面に、日本字でそれを綴る先生は一々廻つてそれを見て歩く。

教壇に戻つた先生は、再びカードを見て『エス樣のお乘りになつた舟は、其おだやかな海の上を、靜に進んで居ました』生徒の人は感心に此意味を悉皆瞭解して居る。そして眼を白黑して、此言葉を呑み込むと、四角い字をノートの上へ記した。次のセンテンスは『其中にエス樣はお眠くなつて艫の方を枕にして、お休みになりました。そして何事も御存じなく、よくお眠りになつてゐらつしやいました。お弟子達は靜に艪いで居ました』を、都合三度に切つて教へた。此中で彼等に疑問を生じた事は、艫である。先生は舟の圖を書いて艫の説明をする。けれども英語は一言も交へなかつた。

＊　＊　＊　＊　＊

『日本の木の枕を御存じですか』先生はこう云つて質問の矢を放つた。『木の上に布で拵へたものがのせてあります。私試して見て知つて居ます。』一番前に居た若い婦人が流暢にかう答へた。『感心ですね』先生はさう云つてにつこりなさる。『枕といふ言葉は色々に使はれます。寢る時の枕は別として、凡て物をさゝへるもの、例へば汽車のレールの下にある木は、枕木です』先生はやさしく枕の説明をする。『何事もは何の事もです、漕いでは、漕ぎてが變つたので、てとたに續く時には、何時でもきがいに變るのです』と我々にしてもむづかしい字の活用や文法の説明をされる。生徒等は熱心に聽く。これだけの稽古が濟むと、彼等はさつさと歸つて行く。先生は又同じことを、次の組に教へるのであつた。

＊　＊　＊　＊　＊

日語學校といふのは平和協會の主催と坂谷校長とに依つて、三年以前に、此校内に設けられ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。生徒の多くは宣教師であるために、教へるのには宗教カードと云ふものを拵へて、事柄を凡て宗教に關したもの許りである。年限は三年間としてあるけれども、布教に忙しい彼等は、到底三年間は居られない。多くは二年位で、目的とする地方へ旅立つてしまふのである、そしてあとは通信教授に任せる事と成つてゐる、目下四十人程の生徒の中、多くは婦人であるといふ。教室内に於ける彼等の熱心さ、大きな人が子供のかたことの様な事を、幾度も間違ひながら繰り返してゐるのは、確かに傍から見ればをかしいかも知れないけれども、傳道の爲めに生るゝこの熱心さ、熱のある勉強振りには、誰もが動かされずに居られない。『ほんとにあちらの方々はお偉いです』先生もかう云はれた。

それにしても日本の昔の枕にあの金髪を横たへた婦人がなつかしまれて、廊下を歩いて行く先生に問ふて見た。あの婦人は日本に生れ、暫く國へ歸つてゐましたが、其後大阪の女學校の先生をして居られた事もありました』と。さしてそれならば、日常語には差支もなからうものを、知れる上にも、更に知らうとする高い熱は果して日本婦人に有り得るであらうか、温かさうなオーバと毛皮に巻かれた婦人等は、細そい靴の踵の跡を門の土に殘して活潑に、我家の方へ消え去つて行つた。（佳子）

心臓を
强壯にするには

▲日本女子大學校教授松浦政泰氏が近く義兄の心臓病で斃れたのを見て、人の命の綱とも見るべき心臓が、人體に只一つよりないのは、疑ひである、美學の均衡上からも一つはよろしくないと或る人に云ふと、二心も困つたものではないかと茶化された、なほ國手に只一つの心臓の强い上にも强くなる方法はないかと尋ねたが、無いと云はれて失望したといふ事を伺ひました。就ては私が實驗した心臓の强壯術を御誌を借りて御紹介致しませう。

▲私は最初坐るとしびれが切れて困りました。そして肥つて居る爲めに心臓に故障を來す事を恐れました。するとふと汽車中に乗り合はした一婦人が、多年マッサージを研究して居るとて次のやうな事を教へてくれました。

▲部厚な瓶に湯を入れ、足の裏を指先きより踵に向けてよくこすり、更らに脚部を下から上にこする事、毎夜寝る時、足の方を高くしてやすむ事、その上に出來れば胃を肋骨より鳩尾にかけて揉み、腸部を右下部から左下部に一周して揉んで、通じをよくします。かうして通じをよくする事を實行すれば、脂肪が無くなつて、心臓が强壯になる。更らに入浴の際は手も足も身體も、心臓を中心にして普通と違つて、逆にこするやうにと教へられました。

▲其の後三日計りそれを實行すると坐つてしびれる事は非常に少くなりました。そして可成りの道を歩いても、胸の苦しい事もなく、足の疲れも直き癒ゆるやうになりました。かうして半年一年を絶えず實行すれば、必ず心臓は强くなららうと思はれます。（讀者）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學校印象記

(五) 日本娘風の女子學院

▲麴町上二番町の閑靜な一角に常磐木の垣根を廻らした、氣持の好い學校が建つて居ります。きさらぎの軟い日光をあびて、若い娘等は三々伍々打ち群れて校庭に樂しい聲を漲らして居ります。ギーッギーッと鞦韆の音が、烈しいきしりを立てます。緑色の手摺ときもちの好い鼠色に塗られた、寄宿舍の窓からは圓い可愛らしい顏がいくつも覗きます。

▲中六番町に面した正門には、古るい墨色で女子學院と讀まれます。女子學院、――既に此名前だけでも、世の人は尊い聖い基督敎のまとゐである事を知るに難く有りません。女子學院はそれ程古るい歴史を持つた、それ程多くの卒業生を出して居ります。日本開闢以來、所謂異人の言葉の解る婦人を出したのは此學校であります。校長さんはミス、ライラ、ホルセー、學監として凡ての實務に携るお方は、三谷民子女史であります。數人の西洋婦人と、二十名程の日本人の先生が、各專門の學科を擔任して居られます。

▲つひ先頃餘儀ない事情のもとに、此學校をおよしになつた、兒童心理學敎授の倉橋惣三先生は多くの生徒からどんなに別れを惜しまれたか知れません。『何といふ面白い懐しい先生なんでせう』生徒等は口々にかう云ひ合ひました『なまじいの知りもせぬ事をおこがましく書くよりは、私には分りませんと、きつぱり書いた方が、好い點をあげますよ』倉橋先生は常に生徒等にかうおつしやいました。多趣味な洒脱な先生は、別れる時の敎室でおつしやいました、『私は多忙の爲めどうしても此學校へ來て居られません、早くからやめやう／＼と思ひながら皆樣の前掛の紐に、結はへつけられて居たのです』と、西洋人に親しみ英語を繙く女子學院の生徒等は、とびきりのハイカラと思ひきや、倉橋先生に淡いあこがれを持たしむる程、寄宿舍へ歸れば意氣な前掛姿なのであります。それも白いエプロン式ではなく、思ひ切り美しい友禪の前掛日本むすめに立ちかへつてしまつてゐるのは、妙ではありませんか。

▲十一月の第二の土曜日、此日は當校の年中行事の一つとして盛な同窓會が擧行されます。同窓會――とは何處の學校でも懐しいひゞきを持つた言葉です。まして赤い頰の少女から、孫の手を引いて來る白髮の同窓生の來會を見る、此學校に於きましては、更に感慨深いものであります。老ひも若きも一つの色に溶け合つて、ひたすら欣びを分つのであります。たへなるシエックスピアーの一くさり、隨意科で暇々に學び得た、美しい樂器の音色、ソプラノの魅力眞から生れる自然の藝術はみごとに滿場を醉はしめ、新たなる親しみを年毎に加へるのであります。

▲斯樣に女子學院の歴史は古いけれども、此校が高等女學校と改められたのは昨年からであります。女學校五年の上に、更に高等科が三年あります。其お姉樣の高等科は、やがて設立される新女子大學の方に、併合されるさうでありますが、天文學、地文學、外國歴史、基督敎證據論等は、すべて英書であります。厚い書物の細かい横文字を、貪るやうに讀み耽る、其中には云ひ知れぬ興味と眞理とが油然として、心の底にしみ入るのでございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春尚寒い此頃

家庭の防寒設備

樺太の冬は凌ぎ好い

斬雲

□内地へ來次第寒くなる

此頃樺太から出て來た人に會つたら、東京へ來ても、樺太に居るより餘計に寒い思ひをすると言つて熱く〳〵こぼして居ました、其人は薄い綿入に薄い綿入羽織で、樺太に居ると皆なそんな薄着だといふのです。樺太では露西亞仕込みの防寒用意がある爲めに、どんな家でもストーブを設け山から伐り出す薪を焚くので室内は六七十度に暖められて居るといふのです。外出時にはメリンス物の覆面頭布を被り、厚い毛布を身に纏ふので別段寒くないと言ひます、處が此人は昨年の暮れに、樺太を發して小樽に上陸し宿屋へ着いて見るとストーブがない、爐が有つても、室内は五六十度には暖まらない、隅の方では水差しが凍る有様で、寒さ堪へがたいのでした。

□吹きさらしの住居

之は堪らぬと、函館へ來て見たが、矢張り此處も寒い、海を渡つて青森へ入り、温泉場に一週間ばかり居て見たが、湯へ入つてる間は暖かい様なもの丶居室にはストーブが無い、それに木炭が青森邊でも例年の倍も高價なので宿屋の女中は斷えず客室を見廻つては、爐の火へ灰をかけて歩るく。馬鹿々々しくなつて、寧ろ東京へ出たら春の様な氣がするだらうといふので一月十日頃上京した處が、今年の東京の寒さは此の通り厳しいので、困り切つて居た、宿屋の小さい火鉢では八疊の隙だらけな室は到底も暖まらない、それに、外出すると、風が切る様に頬を吹く。まさか覆面頭巾を被つて歩く譯にも行かず厚毛布を羽織る事も出來ない、以前長く東京に住んだ經驗もあるのだが、久しぶり東京の冬を見て、其の防寒設備の不充分にして樺太住居よりも、餘計に寒さを感ずるのに呆れて居るのです。

□朝鮮温突式を試みよ

文明開化と共にスパルタ主義は到底行はれません、寒いのを我慢して坐業するのでは、一向能率が増進しません、早く一般家庭に防寒設備が十分になると好いのです。東京なら居室へ爐を仕切り、夏は塞いで長火鉢を其處へ置くと體裁が惡い事もありません、東北や北海道などは、外國の防寒設備を採用して然るべき事と思ひます。スチーム暖室法といふのは結構ですが費用が多くて個人家庭には無理だと言ひます。石炭のストーブも日本家庭には適せず、ペチカといふのも可なり費用を要するらしい、石の多い日本では朝鮮式の温突が、案外成功しそうです。山地の田舎などでは燃料が豊富故、温突が持つて來いでせう。温突の氣持はストーブなどの類でない、結構なものです。

新刊紹介

□實益と趣味の家庭廢物利用法（河口愛子女史著）同じ廢物利用を說くにも、著者には深遠な意義があるのです。其の序文の一節にも「一粒の米、一枚の紙でも、矢張日本の寶であり、延いて世界の寶であります。其の天下の寶を無駄にしては君に對し、神に對し、又自分の良心に對しても相濟まぬ譯であります」と。この趣意から勤儉力行を多年續けた著者の實驗、研究したものを蒐めて、一書にしたのがこれであります。見渡す所一つも空文はありません。且つ附錄として簡易染色手引が添へてあるのも便利です。この一書によつて、廣く廢物利用が世に行はれれば、國家の富を增す所以であります。（定價五十五錢、神田區南神保町十六、尚文堂書店）

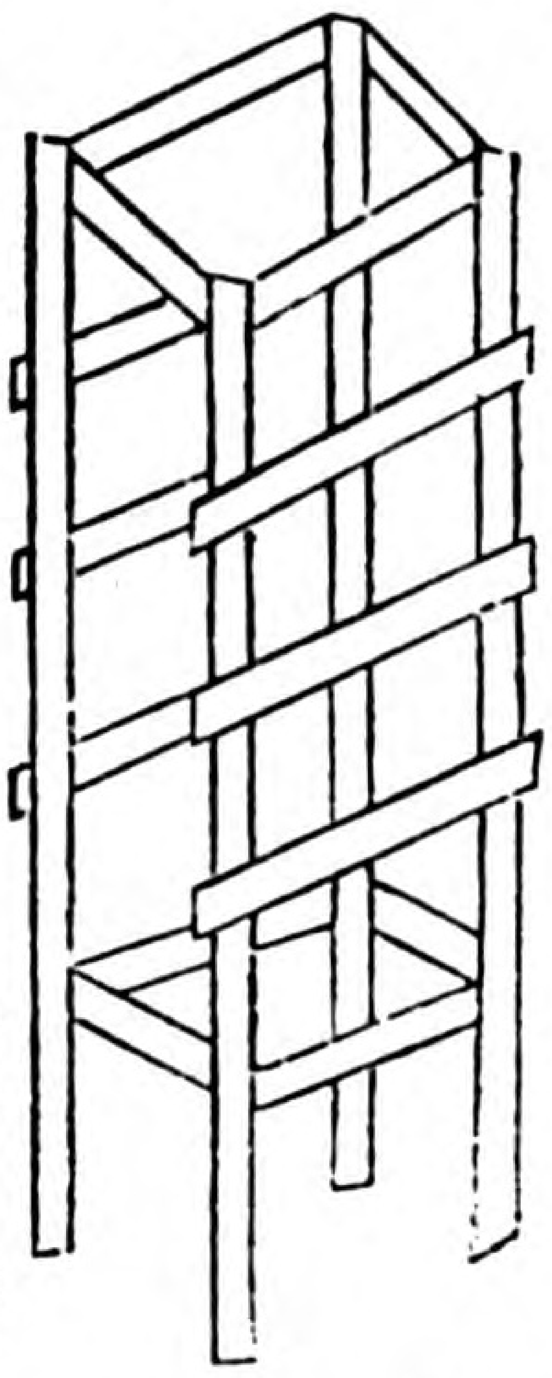
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

借家に住つて
思ひついた事の一二

在長崎　奥きく子

□押入代用の物

此度借りた家が、押入が不足で、三疊の部屋を納戸に使つて居りました。洗つたもの、解いたもの、張つたもの、つもつたものと、一々行李に入れて重ねて居りましたが、餘り不自由であつたので、一寸した工夫をして見ました。それは有合せの小さい松丸太を使つて四本の柱を立て、下から一尺五寸位の處と一番上とに四方に横木を入れます。其の中間に更らに三段位横木を前後二本宛入れました。そして分類して入れた行李に一々風呂敷をかけて上げて置きますと、中々便利です。一番下に洗濯籠を入れて置きます。大工を雇つた序に頼みましたが、ほんの三十分位で出來ました。覆ひものゝ風呂敷は、更らに何か考へたいと思ひますが、もし皆樣の中にお思ひつきのものがありましたら御教示を願ひます。



□棚代りの空箱

なほこの家は押入れの數が少い上に、棚がないので整理に困りました。大工を雇つて拵らへやうと思ひましたが、材料も高く、又賃錢も大分かゝります。それで次のやうな事を致しました。空箱の大きなものを反古紙で張り、押入れの中に置きました。上に蒲團を載せ、下に行李類を入れましたら、中々調法ですそれで又外の處も押入の廣さを料り、適宜の箱を求め。紙で張つて積みますと、便利な棚が出來ます。轉宅の時にはこの箱に物を詰め、又先へいつて棚に用ひられます。

子供の知慧

□大豆さんといふ方

此の頃私共の友人の遠藤さんと申す方が、當地へ赴任していらつしやいますので、私が家さがしに出かけて居りました。留守に心易い方が見えまして「お母さんは？」と御訪れになりますと、九歳の女兒が「家さがしに」と答へました。「どなたのですか」と更らにお聞きになりますと、女兒は首をかしげ、何か豆の名であつたと思つたのでせう。「大豆さんのです」と答へました。（西の果ての一讀者より）

□大きくて重いの？

武ちやん（十歳）は、叔母さんと一緒に炬燵に當りながら話をして居りました。やがて玄關に人の訪ふ音がするのに、取次の小女は返事計りして、容易に立ちません。「ほんとにとくやはお尻が重くて困るね」と申すと、武ちやんは「大きくて重いの？」と眞面目に尋ねました。

お化粧問答

問　お正月に餘り濃化粧をしましたせいか肌が荒れて困つて居ります、療法を。

（芝　きみ子）

答　大分お顏や手足の荒れる爲め此頃になりますと、お困りの方が澤山ございますやうですが、度々申上げた通り平素肌を、大切にし、寒さを恐れぬやうに、なさらねばなりません。それには朝クラブ洗粉で御洗面の後、直に一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームをお顏や手足に擦込んで置きますので、斯樣な簡單な方法で絕對に荒れを防ぐ事が出來るのですから常にお忘れないやうに、此方法をお勸め致します。尙お寢みになる前、幾分か多い加減に右のクラブ美身クリームをお塗りになつてお寢みになればお顏も手足も、荒れるやうな事は決してございません。

問　一番手早く出來るお化粧法をお敎へ下さいませ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紀元節の家庭の祝宴に

日本女子大學校教師　藤田てい子

□鳥飯　手が込まないで、一番馳走になるのは、鳥飯です。鳥飯を甘く炊くには、一升の米に味淋六勺（コップ中杯）醬油四勺を入れて炊き、温くして冷めぬ内に茶椀に盛り、其の上に小鳥か鶏肉をぼろ〳〵にする爲にたゝき（引肉にすればなほよし）これを味淋、醬油にて味つけてのせ、薬味としてすり山葵、微塵葱等を添え、昆布の煮出し汁、或は鶏の骨にてスープを取りたるつゆを飯にかけて出します。東京邊では鳥飯をこうは致しませぬが關西ではこうして食べます。

□茶椀（白魚入蕪蒸し）　蕪を細かに刻み、煮出汁と醬油とを加へて煮つけ、蒸し茶椀に程よく取り、其の上に醬油につけて置いた白魚を入れ、別に玉子をよく溶いて、二倍の出汁を混ぜ、醬油にて味をつけたものをかけ、蒸籠に入れて蒸し、上げ際に蕪のおろしたるを澤山に入れ、蓋をして出します。

□皿（烏賊けんちん蒸しあんかけすり生姜）　烏賊の足をぬき、中の腸を出して洗ひ、水氣を切り、醬油二勺、砂糖五匁（大匙に輕く一杯）を煮立てた中に入れてなほ煮ます。別の鍋に、豆腐一丁をくづして水を入れ、火にかけて煮立ちたる時布巾にあけ、輕く水氣を絞ります。これを煮出し、砂糖、醬油にて味をつけ、汁の無くなるまで煎り、此の中に生玉子を入れて混ぜ、前の烏賊の中に詰め、そのまゝ蒸籠に入れて十分間位蒸ます。蒸し上つたらば五六分の厚さに切り、皿に盛り、其の上に薄葛をかけ、すり生姜を添えます。少し手數ですが、豆腐の中に人參、椎茸等を細かく切つて入れゝば、更によう ございます。

□丼（平貝、うどの酢味噌和へ）　平貝を貝より出して腸を去り、薄くそぐ樣に切つて笊に入れ、鹽をかけてふりうごかし、水にて洗ひ、酢につけます。うどは短冊に切り、鹽水に入れ、後酢に一寸つけ、兩者を酢よりあげ、別に白味噌をよく摺り、砂糖を加へ、酢にて軟かにして裏漉にかけ、前の二品を和へます。これに山葵をすつて入れてもようございます。●

水餅の屑の おいしい食べ方

薩摩芋五百匁ばかりの皮を剝ぎ、よき程に切り御飯蒸しかお釜でふかします。出來上る前に屑になつた水餅を茶椀に一杯位、上にそつと置きますと、お芋が蒸せる迄に軟かになります。蒸し上つたら一緒に鉢にうつして、摺りこ木か杓子でよくつぶします。これを好みの大さに拵らへ黄粉をまぶして頂きます。和らかで、お餅よりはあつさりして、おいしいものです。（一讀者より）

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

答　お化粧をなさるには、其前に生地を整へるため、手水をお使ひになるのが普通ですが、其時間もないと云ふ大急ぎの場合には、近頃發見され大好評を博して居りまする、中山化學工業所新發賣の化粧用化酸過水素水を脱脂綿に含ませ、之でお顔をお拭きになりますと、肌の垢も、脂肪も面白いやうに取れまして、而もお顔の色は不思議と白くなる効果を持つて居ります。（但し此際眉毛や睫毛や髮の毛に過酸化水素水が付かぬやう御注意なさらなければなりません。）次に一番よくきくアレ止め兼用の化粧下クラブ美身クリームの少量をムラなくよく擦込み其上をハンケチかタオルで輕くおさへ、それから清楚な高尚な神彩を現はすクラブ水白粉で平常のやうにお化粧をなさいますれば僅か二三分で立派なお化粧が出來上ります。

（本郷　芳子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青い花の國

（四）

幾美子

その後も二人は一日もかゝさず塔に登つては、明方の不思議な業をば見て居たのです。所がある日の事お太陽様の姿が何時迄經つても見えませんでした。それで仙人はもう一つ別な話をきかせました。

「あれ御覧なされ、今日はあのやうに、空が灰色をして居りましてお太陽様が見えません。けれどもお太陽様は何時ものやうにちやんと出ては居るのでございますが、あの灰色のものが被ぶさつてゐますので見えないのでございます。してあの重たさうな灰色のものは、雲と申すもので、雨を含むで居りまして、あれが破れて下に落ちてまゐりますと、乾いた地面がそれを吸ひ取つて黑暗に眠つてゐる穀物や木や草の根などに分けてやりますので、めい／＼が活々としてまゐるのでございます。そして噴水は水晶のやうに湧き出して、小川は緑の森をさゝめき流て來ますので、私共兄弟も一緒にそれはいゝ氣持になるのでございます」

かう話して居る中に最早大きな粒が、パラ／＼と降つて來て、灰色の雲が引き裂かれさうに稲妻がきらめき、轟いて、眼には見えませんが何物かゞ唸つて居るやうに鳴り響いて來ました。風は荒々しく山上のお城の廻りに吹きさわいで塔にぶつかつたり、樹々を震ひ倒して了ひさうに打ちつけました。雨は猛狂々と地の上に踊つてゐました。國彦王は小さい兵隊さんのやうに眞直に立つて、小鳥や鷹はどうしてるだらう、巣の中に隠れてるだらうかと兄弟の上を氣づかつてるやうでした。

仙人は靜な聲で、

「これは無名の偉人の聲でございますが、今だに何といふ人か解つたものが無いのでございます、あれ何か話してるやうに思はれますがよくお聞なされ、お氣を靜になすつて。若様あなたは、星やお太陽様と同じやうに必つと嵐を御忘れでないやうに。」

さう聞かされて、王は嵐にも親しみを持つ事が出來るやうになりました。

かうして小さい王は日に日に生長つて行きます中に、次第々々に世の中の不思議や美しいものが多くなつて來るやうに思はれて來ました。太陽はあるし、時には月は出るし、星は輝くし、時には嵐も起るし、そしてそれ等の働きに依つて木や草や花などが春夏秋冬を美しく飾るし、眞實に天も地も私達の爲めには大切な有難い兄弟であるといふ事をよく解るやうになりました。そして一人で外出の出來るやうになつてからといふものは、何時も大きな山をへめぐつてましたが、決して嵐や野獸には恐れませんでした。野獸の方でも、

「王様御機嫌よろしう、御一所に遊びませう。」と一疋が云へば、

「さあどうぞ私の脊中に御乗りなすつて下さいまし。」と又他の一疋がいふ程にそれはよく懐いてました。ですから王はこんな友達をいぢめたり殺したりする人達があらうなどゝは少しも知りませんでした。かういふ具合に王は庭の中はいふに及ばず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山の中でも森の中でも自由自在に何も忘れず構はずに飛び廻つてましたので、それは〳〵丈夫な美しい子供になつて、十歳の時にはもう十六歳位の大きさになりました。

それは丁度王が十二になつた時でした。山の下の御國から奇麗な若い馬を贈られましたので、大よろこびで毎朝々々行馬中を乗り廻しては、塔から見て居た仙人をよろこばして居ました。が、ある日の事、王は平地を乗るのに飽きて、うねつた山道を乗り廻して見たくなつたので、行馬の外へ出て行きました。すると間もなく歸へつて來た王は直ぐに塔に居る仙人の所へ行つて、

「私大急ぎで聞いて戴き度い事が出來ちまひましたのです。」と沈んで聲で申しました。仙人は、

「さあ何んでござりまするか？話して御らんなさい。」と側へ王を引き寄せながら云ひました。

何んだか變な事になつたのです。それはまあ、今迄には感じた事が無いやうな氣持になつたのです。私が高い原つぱの中を乗り廻してましたら、馬が急に先へ行くのをいやがつて了まつたのです。それから私一寸上を見ましたら木の上から小さい豹が私達の方を見てたのです。馬はなほとヒン〳〵云つて計りゐて、後へ後へと向き變つて了まひました。私は一生懸命骨折つたのでしたけれど駄目でした。そしてその時なんです馬はもう私の云ふ事をきかないのだと思つたら、急に私のからだ中に奇妙な氣持が湧いて來て顔から指の先まで熱くなつて、胸の所がドキ〳〵して、ぢつとなんかして居られなくなつて來たのです。それで何んて云つたのですか、今もうわすれてわかりませんが・大きな聲を出しちまつたのです。もうその時は私の兄弟だなんていふ事をすつかり忘れて、頭をキユーと手で捏り潰してやつたんです。それから馬をどん〳〵打ちました。」とそこ迄はろくに息もつかずに云ひ續けました。

* * * *

診察時間 自午後一時 至同 九時

細谷ひで子 齒科醫院

四谷區麹町十一丁目十二番地

細谷ひで子

常食の代用にもなる

植物ミルク

六回分拾弐錢
三拾回分五拾錢

婦人週報社取次

日本女子大學校 生徒募集

東京小石川

●家政・國文・英文・師範家政 各學部
●師範家政學部卒業生は家事科中等教員無試驗檢定の特典あり
●高等女學校第一學年 ●小學校女子 ●幼稚園男女
●願書三月廿五日迄 ●入學試驗四月四日 ●規則要二錢郵券

シンガー裁縫院 生徒募集

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）

●ミシン専修 ●毎月五日迄入學

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙 (六)

渡邊たみ子

どんな質問が出るか知ら、と恰度學校の口答試驗の時、先生の前に立たされたやうな幾分緊張した心持と、輕い好奇心を持つて貴方のお顏をまともに見つゝお言葉を待つて居ました。

園ちやんと呼ばれて、なあに、と振り返ると、ぽかんと云つて怒らせられた經驗を幾度も味はつて居るので、十年餘りを經た今でも、矢張、ぽかんと云はれさうな氣持もいくらか交つて居たのです。が夫れ以外には何の心もなく、何物にも囚へられぬ平靜な無邪氣な園を其まゝ貴方の前に据ゑて置いたばかりなのです。

他の多くの異性に對した時のやうな心の警戒は精さんの前に必要を認めなかつた私は、表面確然とした距ての垣根を二人の間に置かなければならないと思ひながらも、門のない門の扉のやうに、おのづと心が開かれて來るのです。つまり精さんの前には何の遠慮もなく期待もなく、ともすれば青年男女の間に起り勝ちな一種微妙な感情に支配されると云ふ事もないので、氣樂な、安心な心持になつて仕舞ふので御座いませう。さうした純な、無邪氣な心で、たゞ貴方の唇の開くのを待つて居たのです。

併し其お口は固く結ばれて暫くは動きさうにも見えません。

十六

三分、五分、緊張して居た心は次第に弛んで輕い倦怠を覺えましたので、精さんの顏から眼を逸して外面を見ました。

初冬の空は高く晴れて、暮れかゝる緒青の色の美しさ、すぐ眼の前に二つばかり、天邊の梢にすがり付いて居る柿の實は、沈まうとする夕陽に射られて赤く輝いて居る。下を見れば、幾度か霜に惱まされた菊の花が色は褪せながらも特有のなつかしい香を放つて、此處までも匂ひがほのめいて來る。百舌が鳴いて猫が忍び足に竹垣の邊を歩いて居るなど、都の内と思はれないやうな四邊の光景は、俄に長い長い時間を溯つて私等を十餘年前の昔に運ばせました。

私は大きくなつた精さんを今目の前に置きながら恍惚と稚い精ちやんの事を思うて居ました。精ちやんの家の裏庭には大きな柿の樹があつた、二人は其木の下に筵を敷いて例の通りまゝ事をして居た、精ちやんは活潑な男の子の癖に、まゝ事と人形が大好きな兒であつた。御隣りごつこか何かで睦まじく遊んで居ると、突然大きな柿の實が落ちて、うつむいて草の葉を刻んで居た私の首筋を打つた。ピシャリと潰れて、ひいやりと白刃でも當てられた樣な冷たさに飛び上る程驚いた私は、わつと聲あげて泣き出した。精ちやんは手に持つて居たあね樣も、花をむしつて盛つた小さな茶碗も皆投げ出して、小さい腕に精一ぱいの力を籠めて私を抱き、背の中へまでも流れこんだどろ〳〵した柿の汁を御自分の手拭で拭いて下すつた。

さうした事實が、今ある事のやうに胸に浮んで來たのです、柿によつて聯想された此の思ひ出は私を現實から引き放して、繪の中にある稚兒と幼女を見るやうに私等二人を美化して仕舞つたのです。

私は最早、何事か貴方から聞れる爲に貴方の前に居るのだと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

云ふ事を忘れて仕舞ひました、囚へられた樣に思ひ惱んで居た人生問題も其刹那は消えて跡方もなかつたのです。私は、何處を限りともわかぬ武藏野の草より草の果てにでも眺めるやうな氣持で、烟つた家つゞきの果てに、濃いオレンヂの色に匂ふ夕映を恍惚とながめて居ました。眺めつゝ依然として追想に耽るのでした。そして思はずも

あゝ彼の川のほとり、
　　君とわかれしは

低音に私は口吟みました。さあ歌はうと思つてうたひ出すのではなく、小さい泉に溢れた水が自然と流れて出るやうに、胸の奥の奥から湧き出て來て、どうしても唄はずには居られないやうになつて來るのでした。嬉しくては歌ひ、悲しくては歌ひ、お米をとぎながらでも、洗濯しながらも、いつか自然と流れて來るやうに唱歌が唇から洩れて來るのが其の頃の習慣でした。わけても何となしに物なつかしく、しみ〲と哀れさの身に泌むやうな夕暮など、涙ぐみながら其折々の情調に添ふ歌をうたふのが私の平常なので御座いました。

　水の流れ歸らず、君又かへらず歸りまさずあゝ夢、と結んだ歌の餘韻を追うて、我れながら微妙な聲に酔ひ心地になりました。

　長い冬の眠りから俄に目醒めて柔かい春の日に遇うた花の蕾のやうな少女時代から若い女に移らうとする時分にはあらゆるものに驚異の眼を瞠るものです美しいとも思つて居ない自分の顔の、ふと鏡の中に映つたのを見て、今まで氣付かなかつた新らしい美を發見したやうな喜びを以つて見惚れるのも此の時代でせう、それと同じやうに人樣が御聽きになつたら美い聲でも何でもない胴羅聲でも、自分丈では天晴世界一の獨唱家ででもあるかのやうに、我れと我が歌に聞き惚れるのです。ですけれどこれはあながち自惚れと云ふ譯ではないのです。耳に馴れて珍らしいとも思はず、むしろ噪しく思つて居る雀の囀づる聲さへも、時には天來の妙音ときこえる事があるのですからね。

　かうした經驗はあらゆる女が一度は持つものであるかそれとも個々によつて異つて居るものなのか、其の邊の所はわかりませんけれど、芝居の前には目を塞がれ小說を持てば取り上げられ、美しいと思ふものに對しては盲目で聾でなければならぬやうに教へられて、何事も、可からず主義の教育を受け、當てもない未來の良人の家の料理をする爲、衣服を縫ふ爲の準備に忙しく過ごさねばならぬ良妻賢母主義の學校に育ちながら、導かれもせぬ空想の世界へ走つて行く少女時代を、今一度引き戻して見たい程に美しいものだと思ひます。

　精さん、私は此處に氷解ない疑問を起さなければならない一つの事に遭遇うた御話しを申上げるのは誠に辛く存じます。

　一度貴方に御尋ねして見たい〱と思ひながら、八年を經た今日の日まで默つて胸に疊んである事を——秘めると云ふのではありませんが——今こゝに記さねばならない羽目に、筆が向いて來たのです。

噂

▲近く逝かれた素木しづ子さんは、天分豊かな女流作家であつた事は、誰れも認める處でありますが、また裁縫にかけてもなか〲妙を得て居つて、早くて手奇麗であつたと申します。稿料が少し豊かに入ると、赤や緑やさま〲の小切れを買つて來ては、膝にのせて愛玩でもするやうにながめて居られると思ふと、忽ち愛子桜子さんのちやん〲となり、布團になつたと申します。▲これも近く逝かれた婦人記者界の名物であつた磯村春子女史は仙臺の宮城女學校出身で女子學院に入學しました。入學の日校長矢島楫子刀自はつく〲と春子女史を見て「あなたのやうな方はじつと學校に學んで居るより、記者にでもなつては如何です」と云はれると、直ぐ退學して終ひ、婦人記者となつたのであつたとの事。

十七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□垠殿下朝鮮より御歸京　李王世子垠殿下には、十數年振りにて朝鮮に御成り遊されましたが、一月二十九日御歸京相成りました。

□高松宮の御風氣　第三皇子高松宮殿下には、一月下旬より御風氣にて御引籠り中でしたが、最早や快方に向はせられ近々小田原御用邸へ御轉地遊ばさると洩れ承ります。

◉**憲法發布祝賀會は來年**　本月十一日、憲法發布祝賀會を議院に於て開かれる事、略決定して居りましたが、上院各派との交渉の結果、滿三十年に當るべき明年を期して擧行される事になりました。

◉**獨逸にも大暴動**　獨逸にては一月末旬より伯林を中心とする軍需品製造工場に同盟罷業勃發しましたが、其後益々同盟罷業の範圍擴大したと傳へられます。此の同盟罷業は、露國過激派の成功や、墺國の同盟罷業などより刺戟されたものでありまして、社會黨中の過激派が專ら活動してゐるものと思はれます。彼等は無併合無賠償にて速に民主的講和を締結する事及び麵麭を與へよと主張し勢ひ却々猖獗を極むる如く、伯林に戒嚴令布告され、一切の公式集會を禁止し、當局者は罷業者を射殺する方針を取り、大壓迫を加へて居ります。

◉**レーニン殺害説**　一日哈爾賓發の電報によると、露都に於て二個聯隊と赤色近衛軍との間に戰鬪行はれ、レーニンは殺害されトロツキーは捕縛されたとの説がありますが、尚ほ大いに疑問とされます。近時露都の形勢は、漸く反過激派の氣勢が上り獨り中產階級ばかりでなく下級勞働者間にもレーニンやトロツキー等過激派を惡む者があると申します。

◉**滿洲の排日熱**　從來日本兵と見れば縮み上つてゐた滿洲人は、先般ハルビンの露國過激派を一擊の下に降參したので大いに意氣昂り、日本恐るゝに足らずとばかり、排日氣風勃興し曩に日支條約にて認められ居る日本人の土地商租を禁止するの奉天省布告は殘る隈なく行渡り邦人の滿洲奥地旅行は危險となつたと某新聞は報じて居ます。

◉**佐藤大使歸朝す**　一年有半米國駐剳大使として日米の親交に努めたる佐藤愛麿氏は、三日夜伏見丸にて横濱着、歸朝しました。更迭の噂があります。

◉**新造艦の命名**　昨夏臨時議會の協贊を經たる海軍々備補充費に依り建造さるゝ一等巡洋艦三隻、一等驅逐艦五隻、二等驅逐艦八隻は、今般左の如く命名されました。

▲一等巡洋艦（佐世保工廠）北上（長崎三菱造船所）木曾（川崎造船所）大井

▲一等驅逐艦（舞鶴工廠）沖風、島風、灘風、矢風、羽風

▲二等驅逐艦（横須賀工廠）樅、榧（呉工廠）檜、栗（川崎造船所）梨竹（浦賀船渠）柿（石川島造船）樗

◉**東昌丸擊沈さる**　邦船東昌丸（三〇三八噸）は、一月二十九日地中海にて獨艇の爲め擊沈されましたが、乘組員は全部ジブラルタルに無事上陸しました。

◉**海軍の大飛行計畫**　海軍飛行隊にては來る廿七、八兩日に亘り、追濱より愛知縣大濱に至る百八十餘哩の大飛行を擧行する事に決定しました。

◉**佛戰場で墜死の邦人**　廣島縣呉市の出身なる山中忠雄氏は佛蘭西軍の飛行將校として活動中舊臘四日ナンシー飛行隊にて飛行中墜落死去したと傳へられます。

◉**樺太こー大築港**　一月廿九日の官報で樺太築港事務所の官制發布を見ましたが、該築港は樺太でも比較的暖かい西側に位する一漁村本斗港に、二百五十萬圓の經費を以て築かれるもので九ヶ年計畫　大正十三年に竣工する筈だと申します。

◉**國史の公開講義**　東京帝國大學にては、二月廿五日より一ヶ月間、午後六時より九時半迄、法科大學教室に於て、帝室に關する研究及び勤王の思想を鼓吹するの目的に資する一講座を設け、男女を問はず一般篤學者の爲めに『王政復古の歴史』荻野教授『國史に就ての概念』黒板教授『神祇史綱領』宮地講師の外科外講義を開く由です。右は前田侯爵家より、先帝行幸記念として金二萬圓を大學に寄附されし爲めに開かれるものでありますと。

◉**公設市場の相談進む**　時局調査會では公設市場の問題に就て四日午後東京商業會議所に第一部會を開き、種々意見の交換を行ひましたが、大分具體的な相談になりかゝつて來ました。

◉佐藤進博士の金婚祝賀會　女子美術學校出身者及在學生より成る親友會員は、此の十一日の紀元節に校長佐藤博

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子刀自を主賓に 其良人進男爵を副賓として、本郷菊坂なる同校に招請して午前十時半から金婚紀念の祝賀會を催す由です。當日は職員生徒の丹精を凝したる 高砂の尉と姥とを贈呈する由。 男爵は本年七十三歳靜子夫人は六十八歳の高齢で、家庭の幸福者としてのみならず、共に社會に貢献する事多くして、五十年の目出度結婚生活を送られたのであります。

◉母校に歸る女理學士 東北帝國大學を卒業して 我國婦人最初の學士さなつた理學士黒田ちか子、同牧田らく子の兩氏は目下大學院に籍を有し 研究を續けて居られますか、牧田學士は五月より、黒田學士は九月より、母校なる東京女子高等師範學校に講師さして教鞭を 採る事に决定したさうです

◉米穀取引所の休會 岡中右衛門氏が二十數萬石の米を買占めた爲め、物價調節令に依つて農商務大臣より 戒告を與へられました爲め、大阪米穀取引所は一月廿八日より三十一日迄休會し、東京米穀取引所は廿八日より 三十日まで休會の止むなきに至りました。 右に就き世間には政府の物價取締令に對する 非難の聲が可成り高い樣です。 而して米價は二月一日の期米相場に於て更に奔騰しました。

◉白米は圓に二升臺 東京白米小賣標準相場は二日より 無砂一等米一圓に二升九合七勺六才の割になりました。

◉秋山海軍中將逝去 帝國海軍の智嚢さして知られたる 秋山眞之中將は狹てより病氣靜養の爲め 小田原にありましたが四日朝遂に盲腸炎にて 永眠されました。 行年五十一。

◉朝吹英二氏逝去 三井物産の重役にて實業界に其名高き 朝吹英二氏は、腸胃出血にて、一月卅一日夜逝去されました。

◉鈴木松年書伯の訃 京都書壇に一頭角を擢んでたる 鈴木松年翁は一月廿九日腦溢血にて逝去さる、享年七十。

◉素木しづ子氏逝く 新進閨秀小說家さして一地歩を占めて 居りました素木しづ子氏は、 宿痾なる 結核性骨膜炎にて、一月廿九日逝去しました。 行年僅かに二十四歳。 遺作は『松葉枝をつく女』『三十三の死』『美しき牢獄』等。

□婦人記者倶樂部 五日午前十時より例會を赤坂新町の 婦人矯風會内に開く。竹中繁子(朝日) 下妻つま子(讀賣) 小橋三四子(婦人週報) 守屋東子(婦人新報) 久布白落實子(同上) 大澤豐子(時事) 服部桂子(萬朝) 吉田清子(國民) 五明しづ子(日々) 柴田淑子(無所屬) 等順次來會、故磯村春子女史を追悼し、 會食後、各自のめづらしき見聞を語り合ひ、午後二時頃散會しました。

女學校だより

▲大妻技藝學校落成 昨年中麹町區上六番町七番地に 山階宮家下賜の校舍を移して增築中なりし同校は、今回愈よ竣工し、紀元節の佳節を卜して、 落成式を擧ぐる答。 なほ山階宮大妃殿下の台臨を忝ふするよし。

▲女子英學塾同窓會寄附 母校女子英學塾發展の一助さして、數年來基本金一萬圓の募集を企てゝ居りましたが、其の補充にあてんが爲め、紀元節の午後一時より帝國劇場に音樂會を催し、ペッオルド夫人、クローン氏、鈴木、大山、柳、長坂の諸女史、船橋榮吉氏等の 獨唱並に演奏ある答。 切符 一等一圓五十錢 二等一圓 三等六十錢。

▲女子醫學專門學校 東京市牛込區市ヶ谷河田町なる 同校は一學年一百名を募集する由。入學資格者は高等女學校卒業の者に限るとの事。入學願書提出期限は三月三十日限

▲日本女子大學校 東京市小石川區豐川町なる同校は家政、國文、英文、師範家政の各學部の生徒を募集して居ます。師範家政部には無試驗々定の 特權がありま す。なほ附屬高等女學校一學年、小學校、幼稚園の募集があります。願書提出期限は三月廿五日限り、入學試驗は四月四日です。

個人消息

△磯村春子 婦人記者界の古参さして知られた君は、 一月三十一日 心臓病にて逝去されました。

△目賀田逸子 過般の腸胃カタル略全快に赴き一日箱根に轉地、七日頃歸京して、近く歸朝の男爵を迎へらるとの事。

編輯室より

▲久しく乾いた土地に、 春を潤らす雨が遺憾なく 降り注ぎました。 畑の野菜 類も漸く蘇生して、 やがて市 場の暴騰も和らげらるゝ事でありませう。 ▲一週の時事を蒐めて、 一目瞭然たらしめますさ、 世界の變動の並ならぬ事を、 熟々さ思はせられます。 皆樣もこうした時事欄に深い注意さ興味さを向けらるゝ事で あらうさぞんじます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業さして、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調查、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切さ誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依賴者が至當さ思はれる程の 低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷出町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)
人事相談所

婦人週報

(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(郵税共)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部) 金六拾錢
△半年(廿六部) 金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢
△外國一年分金參圓

廣告料

△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付) 金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ヶ谷見附内）
電番 六二番 五一六番
院長 醫學博士 高田畊安
東洋内科醫院

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

大黒天印 赤 白
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科専門
（入院随時）
院長 大野喜伊次
耳鼻咽喉科 **大野醫院**
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七
東京至誠病院

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者に
教授し英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に
授す火金曜午後一時より二時迄特別會話の組
あり月謝金二圓（アビノ個人教授の需めに應ず）
英語専門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話小石川二六九一番）

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京二二三一番）

家庭衛生講習會
一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日月水金午後二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として随意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA